

令和 8 年度 予算

令和8年度 一般会計当初予算

歳入歳出総額

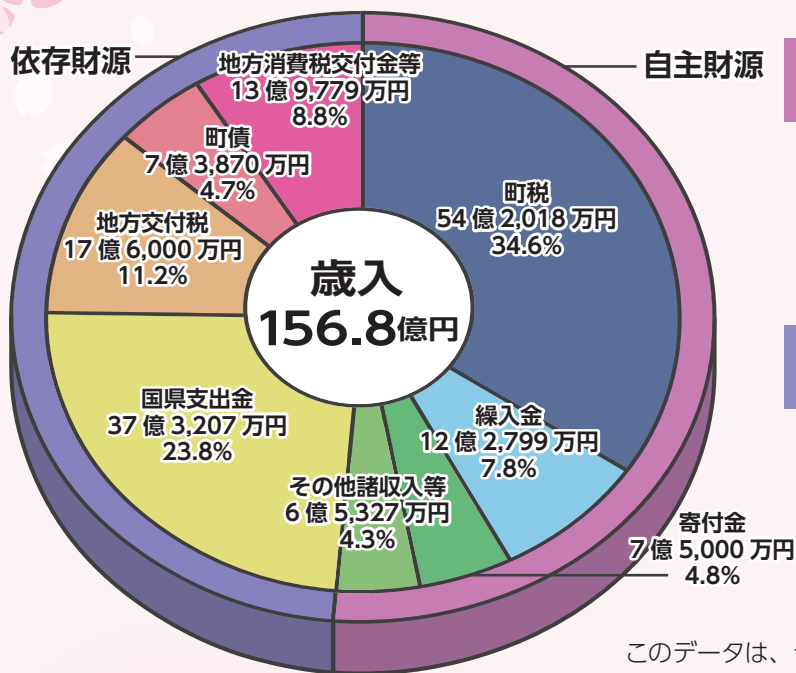
156.8億円

(対前年度比 1.1%減)

令和 8 年度一般会計予算のポイント

「総合計画」に掲げた計画目標を基本とし「もっと先へ、チャレンジ利府～みんなの夢がかなうまち～」を合言葉に、町民一人ひとりが幸せを実感できる、持続可能なまちづくりを戦略的に進めるための重点施策事業に必要な予算編成を行いました。

一般会計 歳入



自主財源 (51.5%)

80億5,145万円

町税や施設利用料など、
町が自主的に調達できる財源

依存財源 (48.5%)

76億2,855万円

国や県の基準により決定され、
交付される財源

このデータは、令和 8 年度一般会計予算総額を、町民一人当たりの金額に換算したものです。 ※令和 8 年 2 月末現在人口 35,893 人

町の会計を
家計に
例えてみると…

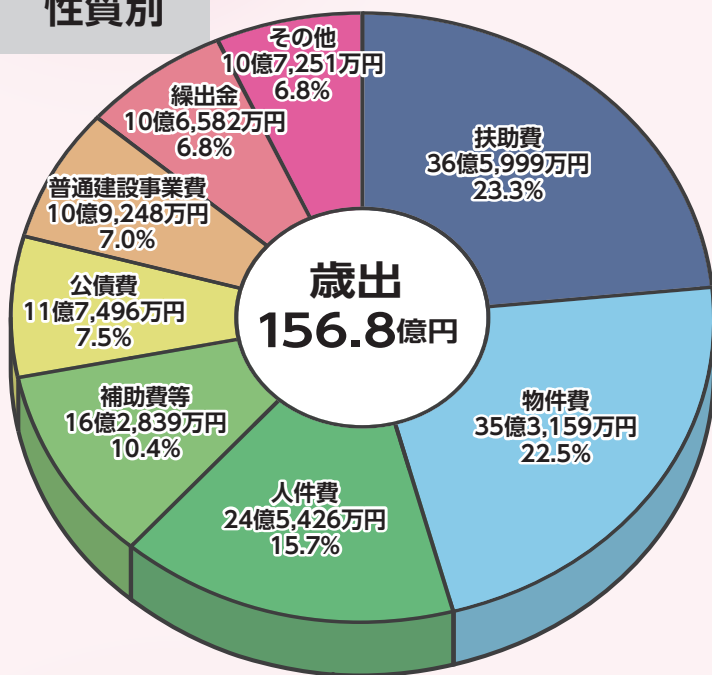


まちの家計簿(収入)	令和8年度	令和7年度	比較増減額
給料 (町税)	151,009円	147,366円	3,643円
パート収入 (使用料など)	18,200円	19,659円	△1,459円
親からの仕送り (国・県支出金、地方交付税)	153,013円	154,200円	△1,187円
給付金や配当金 (国からの交付金など)	38,943円	35,730円	3,213円
貯金の取り崩し (繰入金)	34,213円	34,750円	△537円
親戚等からのご祝儀 (寄附金)	20,895円	23,711円	△2,816円
住宅ローンや借金 (町債)	20,581円	27,008円	△6,427円
収入合計	436,854円	442,424円	△5,570円

一般会計 歳出

※100%となるように
端数調整しています。

性質別



令和7年度 一般会計予算額

158.6億円

令和8年度 一般会計予算額

156.8億円

令和7年度から
1.8億円の減額

■ 扶助費

社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などを支援する経費

■ 物件費

人件費、扶助費などを除く、消費的な費用(支出の効果が単年度または極めて短期間で終わるもの)の総称

■ 人件費

議員報酬や町職員の給与などの経費

■ 補助費

一部事務組合や町内の団体などを補助する経費

■ 公債費

町が発行した町債(借金)返済のための経費

■ 普通建設事業費

道路や公園などの社会基盤の整備に要する経費

■ 繰出金

一般会計から特別会計に支出される経費

このデータは、令和8年度一般会計予算総額を、町民一人当たりの金額に換算したものです。 ※令和8年2月末現在人口 35,893人

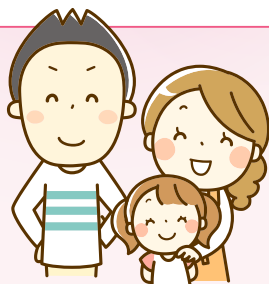
収入に関しては、給料(町税)の増加が見込まれます。

また、住宅ローン・借金(町債)の新規借入れを大幅に削減し、家計負担を見直しました。

その結果、貯金(繰入金)の取り崩しが減少しています。

支出に関しては、物価高騰により食費(人件費)が増加しましたが、節約に努め、光熱水費(物件費)が減少しています。

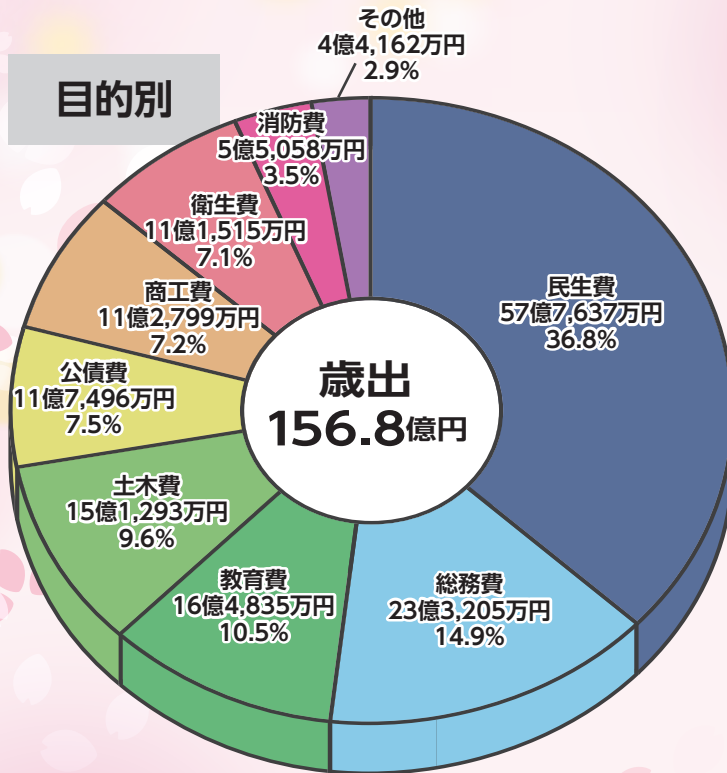
また、増改築費(普通建設事業費)や住宅ローン返済(公債費)などのピークが過ぎたことで、全体的に支出が減少しております。



まちの家計簿(支出)	令和8年度	令和7年度	比較増減額
食費(人件費)	68,377円	64,382円	3,995円
光熱水費や日用品の購入(物件費)	98,392円	103,322円	△4,930円
家族の医療費(扶助費)	101,970円	98,913円	3,057円
親戚や友人との交際費(補助費等)	45,368円	43,496円	1,872円
住宅ローンや借金の返済(公債費)	32,735円	35,136円	△2,401円
貯金(積立金)	13,251円	13,820円	△569円
投資(その他貸付金等)	16,630円	15,200円	1,430円
子どもへのおこづかい(繰出金)	29,694円	28,433円	1,261円
家の増改築費(普通建設事業)	30,437円	39,722円	△9,285円
支出合計	436,854円	442,424円	△5,570円

※100%となるように
端数調整しています。

目的別



民生費

児童、高齢者、障がい者の
福祉など

総務費

課税徴収、防災、戸籍事務、
体育館施設の維持管理など

教育費

学校教育、社会教育など

土木費

道路、公園などの整備や
維持管理など

公債費

町の借金の返済費

商工費

商工・観光の振興など

衛生費

環境保全、ごみの
処理など

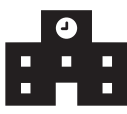
消防費

風水害・地震・津波を
含む災害防除など

町民 1 人当たりの行政経費（一般会計）

1 人当たり **436,854 円** (歳入歳出総額÷人口)
※令和 8 年 2 月末現在人口 35,893 人



民生費 (児童、高齢者、障がい者の福祉など)	総務費 (課税徴収、防災、戸籍事務、体育施設の維持管理など)	教育費 (学校教育、社会教育など)
 160,933 円	 64,973 円	 45,924 円
土木費 (道路、公園などの整備や維持管理など)	公債費 (町の借金の返済費)	商工費 (商工、観光の振興など)
 42,151 円	 32,735 円	 31,427 円
衛生費 (環境保全、ごみの処理など)	消防費 (風水害・地震・津波を含む災害防除など)	その他
 31,069 円	 15,339 円	議会費 労働費 災害復旧費 農林水産業費 予備費 12,303 円

その他各種会計の予算

■ 特別会計

【介護保険特別会計】

介護保険法に基づく介護保険事業の収支を経理するための会計です。被保険者からの介護保険料・介護サービスや介護予防のための費用の収支管理を行っています。



【国民健康保険特別会計】

社会保険等の他の医療保険に加入していないすべての住民の方を対象とした医療保険制度の収支を経理するための会計です。加入者が保険税を出し合ってお互いを支え合う相互扶助により、病気やけがをしたときに安心して医療を受けられるよう収支管理を行っています。



【後期高齢者医療特別会計】

原則として75歳以上の方を対象とした医療保険制度の収支を経理するための会計です。現役世代からの保険料による支援や加入者の保険料により、病気やけがをしたときに安心して医療を受けられるよう収支管理を行っています。



【町営墓地特別会計】

墓地に関する事業や資金の運用状況を明確にするための会計です。たてやま霊園の区画墓地や集合墓地の使用料等により、霊園の管理、場内清掃、除草業務等を行っています。



Q. 特別会計ってなに？

A. 一般会計とは別に、保険料など特定の収入で事業を行う会計のことです。



■ 公営企業会計

【水道事業会計】 【下水道事業会計】

サービスの提供に対して皆さんが支払う料金などを収入として事業を行うための会計です。皆さんが安心してサービスを受けられるよう、上下水道使用料で施設の整備や維持管理を行っています。



Q. 企業会計ってなに？

A. 一般企業のように、利用料金などの収益で運営する会計のことです。



令和 8 年度 会計別当初予算額比較表

区 分		令和 8 年度 当初予算額	令和 7 年度 当初予算額	比較増減額	増減率
一般会計		156億 8,000 万円	158億 6,000 万円	△1億 8,000 万円	△ 1.1%
特別会計	国民健康保険特別会計	32億 4,906 万円	31億 7,068 万円	7,838 万円	2.5%
	介護保険特別会計	26億 2,699 万円	26 億 4,122 万円	△ 1,423 万円	△ 0.5%
	後期高齢者医療特別会計	5億 1,851 万円	4億 6,618 万円	5,233 万円	11.2%
	町営墓地特別会計	1,162 万円	1,137 万円	25 万円	2.2%
	小 計	64 億 618 万円	62 億 8,945 万円	1億 1,673 万円	1.9%
公営企業会計	水道事業会計	11億 1,582 万円	11億 4,857 万円	△ 3,275 万円	△ 2.9%
	下水道事業会計	8億 6,065 万円	8 億 5,239 万円	826 万円	1.0%
合 計		240億 6,265 万円	241億 5,041 万円	△ 8,776 万円	△ 0.4%